

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	経済部商工労働観光課	直通電話	72-3166	事業コード	503030102	課内	6	作成日	平成15年8月14日	
	担当者		松田 裕		担当課長		加藤秀樹		担当部長	工藤厚志

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	中小企業特別融資資金貸付事業	開始年度	S55	終了年度	未定						
		最近の事業内容見直し年度	H14								
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">施策コード</th> <th style="width: 85%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>5020401</td> <td>商業の活性化 / 商店経営の近代化と魅力化</td> </tr> <tr> <td>5030301</td> <td>工業の振興 / 地域産業の育成</td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	5020401	商業の活性化 / 商店経営の近代化と魅力化	5030301	工業の振興 / 地域産業の育成
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目										
5020401	商業の活性化 / 商店経営の近代化と魅力化										
5030301	工業の振興 / 地域産業の育成										
3) 個別計画での位置付け	石狩市地場企業活性化計画(創造的地場企業等の育成 / 金融支援の強化 / 資金融資制度の充実)										

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	市内中小企業者の経営基盤の安定化
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市内中小企業に対する資金供給の円滑化及び中小企業の自己資本の充実。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	<p>融資対象: 市内に独立した事業所(店舗含む)を有する中小企業基本法第2条第3項に基づく中小企業者及び中小企業等協同組合法による事業協同組合又は企業組合で、原則1年以上同一事業を営むもの。</p> <p>区 分: 運転資金 融資額1,000万円以内 返済期間5年以内          設備資金 融資額2,000万円以内 返済期間10年以内</p> <p>貸付利率: 1年以内～長プラ+0.1%、1年超え～長プラ+0.5</p> <p>優遇措置: 市が2%を上限として利子補給を行う。</p> <p>担保等 : 保証協会の保証を要件とする。</p>
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	バイオフ解禁に対応して、預託金制度を廃止
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	バブル崩壊後10年余りの長きに渡る経済不況と、国の総合デフレ対策による不良債権処理の加速化が進行するなど中小企業の資金調達環境は大きく悪化している。 [類似事業] 小規模企業活性化資金貸付事業
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)						
1) 直接事業費(千円)	95,988	98,495	9,019	12,000	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">利子補給金</td> <td style="width: 20%;">9,019</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">H14 主な特定財源の内訳</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td></td> </tr> </table>	利子補給金	9,019	H14 主な特定財源の内訳		金額(千円)		
利子補給金	9,019											
H14 主な特定財源の内訳												
金額(千円)												
2) その他の間接経費(千円)		46,150	36,750									
3) 従事正職員の人件費(千円)	2,054	1,410	1,236									
総事業費(1～3の合計;千円)	98,042	146,055	47,005									
総事業費中の一般財源(千円)	98,042	99,905	47,005									
市民一人当たり一般財源使用額(円)	1,772	1,799	841									
事務に従事した正職員のべ人数	0.25人	0.17人	0.15人									

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
年間融資実行件数(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	各年度の融資実行件数(目標値未設定)
	実績値	12	39	38	
	達成率				
年間融資実行額(千円)	目標値	未設定	未設定	未設定	各年度の融資実行額(目標値未設定)
	実績値	53,900	309,660	265,090	
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

## 5 事業の成果

事業名：中小企業特別融資資金貸付事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
年間利子補給額(千円)	目標値	3,500	5,000	8,000	12,000	市が借主の返済額に応じて交付する利子補給金 (目標値は当該年度の予算額を計上)	貸付状況報告書
	実績値	2,988	5,495	9,019	目標レベル		
	達成率	85.4%	109.9%	112.7%	-		
	最終目標	年度に					
事故件数(件)	目標値	-	0	0	0	本制度融資の返済が滞り、保証協会の代位弁済を受けた件数(目標値は0)	貸付状況報告書
	実績値	-	0	0	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
年度末貸付残高(千円)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	各年度末貸付残高(目標値未設定)	貸付状況報告書
	実績値	148,686	384,378	450,830	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	資金需要に応じた融資が実行され、その実績も増加しており、今後も一定程度の制度利用が見込まれる。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	長引く経済不況を反映して中小企業の資金調達環境は依然として厳しく、市内中小企業の振興・経営の安定化を図るうえでの資金供給の円滑化対策は必要であり、その利用状況・事故件数等を勘案しても、その有効性は認められる。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	市内中小企業者の振興を目的とした資金繰りの円滑化と金利負担の軽減であり、市の相応の関与は妥当である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	中小企業の自助努力の支援という観点から見ても、借り手企業は、信用保証協会の保証料等相応の負担をした中で、の制度利用であり、行政サイドの過度な支援とはなっていない。ペイオフ解禁に対応した預託制度の廃止など必要な見直しも随時行っている。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
	今後も改善を重ねつつ引き続き事業を継続していく。		課長評価を了承する。	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	今後、何らかの具体的な成果指標が求められるよう何らかの調査研究が必要との認識をしている。
最終評価	現下の厳しい経済環境のなか中小企業者の振興を目的とし資金繰りの円滑化と金利負担の軽減は経営の安定化を図るうえで重要且つ必要と見做す。

## 9 平成16年度の方向性

* 担当課長 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向	*	
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
休・廃止			
上についで説明	貸付残高の増大が見込まれるため。		